

質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

| 質問順 | 質問議員 | 通告の標題・内容 |
|-----|------|---|
| 1 | 畑 久雄 | <p>◎ わが町の人口増減問題について</p> <p>令和2年3月に発行された第7期鹿追町総合計画の人口推移によると、平成7年から平成27年の20年間で547人減となっている。令和4年末の人口は5,144人であり、7年間で398人減となっている。</p> <p>人口計画は予算上重要な数値である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少の実態について検証しているか。その内容は。 2 今後の予想人口の増減は。 3 人口増のための事業をどのように考えるか。 |
| 2 | 狩野正雄 | <p>◎ 国際交流滞在者施設の維持・活用</p> <p>泉町に国際交流推進を目的に、長期滞在できる1棟2戸の住宅があるが、コロナ禍で来訪者がいない状態である。</p> <p>住宅は入居者がいないと不具合が発生するため、早期に入居者を入れるなど住宅政策として対応すべきと考える。</p> <p>住宅の適切な維持管理と町の活性化につながる活用方法の検討について。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カナダとの相互交流事業の目的で整備されたため、一般的な公営住宅として利用できない等制約はあるのか。 2 鹿追高校生のカナダ短期留学が再開されたが、今後の国際交流の進め方や相互交流事業が再開される見通しは。 3 リモートワークやワーケーションが注目され、企業と町が協定を結び働き方のモデル事業に取り組んでいるが、この住宅をまちの情報発信ができるタウンオフィスとしていく考えは。 |

| 質問順 | 質問議員 | 通告の標題・内容 |
|-----|------|--|
| 3 | 山口優子 | <p>◎ 学校給食の食材価格高騰における町の対応と農業振興政策との連携について</p> <p>学校給食費は、条例に基づく規則により1食当たりの基準額が小学校で250円、中学校で300円となっている。限られた予算の中で必要な栄養価の基準を満たし、質を落とすことなくやりくりしていると聞いた。</p> <p>昨今の円安や海外情勢などにより物価の高騰が続いているが、食材価格高騰による影響と対策について、今後も価格高騰が続く場合、どのように対応していくのか。</p> <p>一方で、農業振興の視点では乳製品や砂糖の過剰在庫を抱えているが、価格が高いため学校給食のメニューから減ってしまう現状にある。農業振興や地産地消のためにも学校給食で買い取り、農業を支えては。</p> |
| 4 | 川染 洋 | <p>◎ 本町の町政運営の根源をなすものは何か</p> <p>まちづくりの政策形成には教育行政がかかせない。都市に住む子供と地方に住む子供に差があると言われるが、差があってはならない。町独自の方法を作り出すことが求められ、教育行政の本質である教育行政計画の策定をするときであると考え。</p> <p>また、「一貫教育」と「山村留学」の両制度を基礎にさらに求めるべき施策策定をするタイミングである。本町のまちづくりに教育事業が大きな資源になると思う。まちづくりの観点と教育行政に通底するところがないか研究する時期と考える。</p> <p>1 子供たちに招来するであろう知識度は、グローバルスタンダードレベルが求められることは必至であると考えられるが、本町の教育行政は子供たちにどう学ばせたいと考えているか、教育長の見解を求める。</p> <p>2 教育行政がまちづくりの絶対的な根源となりうるか否か、どうあるべきと考えるか町長の見解を求める。</p> |